



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みとりと清流

2003年6月発行 第19号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

☎ 591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みとりと清流

2003年6月発行 第19号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん **赤旗**

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円

お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡 南平駅
中野あきと事務所

ヤマダデンキ

北野街道

子どもの医療費無料化制度

所得制限の撤廃を

「税金は所得に応じ、サービスは平等に」

の原則にたつて

急速に少子化がすすむなかで、各自自治体でさまざまな対策が行なわれています。その中で、東京都は就学前までの子どもの医療費無料化制度を実施していますが、所得制限が設けられているために、すべての子どもに適用されていません。

このため日野市でも約25%の子どもが適用対象外とされています。ところが23区では、ほとんどの自治体予算の上乗せを行ない所得制限を撤廃しています。

最近では三多摩地域でも、多摩市、狛江市、調布市など所得制限を無くす動きが広がっています。

そもそも税金をしっかりとりましたが、市長も「努力し納めている若い世帯が、子どもの医療費助成から排除されるのは公平ではありません。子育て世帯の切実な願いです。三月議会の予算委員会となった。すべての子どもで中野あきと議員はこの子どもの医療費無料化実現の問題をとり上げて、所得制限の撤廃を強く市長に求めたいと思っています。」

西平山区画整理「何でも相談会」のお知らせ

日時 六月二十九日（日）午後二時～四時まで
場所 東宮下地区センター（東平山三丁目・平山変電所裏）
主催 日本共産党西平山・東平山後援会、中野あきと事務所
お問い合わせ 中野あきと事務所 ☎599-3350
南平 七一六七二



有事法強行に抗議！発動を許さぬたたかいを《6・7》日野市民集会

6月7日、ストップ！有事法制日野市民連絡会主催の『有事法制反対集会』が、多摩平第一公園で行なわれました。前日に有事三法の成立が国会で強行されたために、集会はこれに抗議すると共に、発動を許さぬ新たなたたかいの出発点に切り替えられました。

集会では市内の労働組合や被爆者団体が決意を述べ、日本共産党を代表して田川ゆたか（衆院東京21区候補）さんが挨拶を行ないました。集会終了後は元気よく日野駅までピースウォークを行ない、沿道の人々に平和と戦争反対を訴えました。

草の根から

市教育委員会は、「これからこの地域の子どもの数はさらに減りつつあるので統廃合が必要」と平山台小と平山小との統合をすすめるようとしています。しかし、一方では市の基本構想は、これから二〇一〇年へ向けて日野市の人口を一八万五〇〇〇人まで二万人強増やしていく目標をもって、区画整理の基盤整備や子育て支援で若い世代が住み続けられるまちをつくらうとしています。

教育委員会は、都の統計部の予測数値で減少することとを一生懸命説明するのですが、市がめざしている将来人口とはまったく整合性がとれない数値でいくら説明されても、納得できないのは当然です。

学校は地域のコミュニティの中心と言われます。コミュニティ、まちづくりは30年、50年を見通して考えるもの。

「もっと慎重に、もっと先を見通して」・・・中野

美化デーの清掃ごみ

「有料袋を使え」と市が一方的に通知

平山公社住宅自治会などの対市交渉で市が陳謝

日野市では、二〇〇〇年一〇月からごみは有料化されましたが、美化デーの清掃活動で収集された落ち葉や枯れ草などは無料の「ボランティア清掃袋」を使用してきました。

ところがこのほど平山公社住宅自治会などに「市指定の有料袋を使用して排出するように」という一方的なお知らせが、市環境共生部から送られてきました。

この間、平山住宅自治会では、会員の協力を得てごみの減量について自覚的な

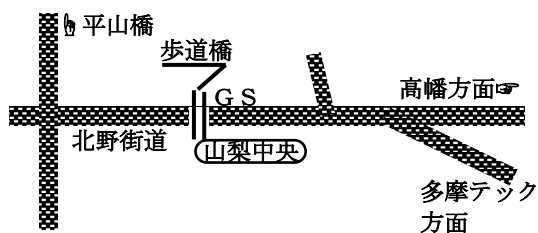
努力を重ねてきましたが、これを無視するような市のやり方は納得できないとして他の都営団地自治会にも呼びかけて、五月二十七日対市交渉を行いました。

対応した市の環境共生部長は自治会側の主張を全面的に認めて「事前に話し合ふべきだった」と陳謝し、当面六月は従来どおりボランティア袋の使用を認めました。なお、この対市交渉には新井団地自治会の代表も参加しました。

平山三丁目 北野街道に信号機つき横断歩道を

北野街道平山三丁目、山梨中央銀行付近に「信号機付きの横断歩道ができないか」という声が付近を通行している人から出されています。

この場所には歩道橋が設置されていますが、お年寄りや身体の不自由な方は利用できません。要望実現には管轄の警察署への折衝も必要です。ご要望、ご意見を中野事務所までお寄せ下さい。



区画整理審議会が公開へ

くり返しの提案実る

情報公開が大きくすすめられるなかで、なぜか非公開ですすめられてきた区画整理審議会。中野あきと議員は3年前から議会で公開するよう、くり返し求めてきました。

当初、市は、「プライバシー保護」を理由に拒んでいましたが、中野議員は透明化を求める世論の広がり、全国的な流れを示しながら公開を求め続け、この程これが実現しました。



森住 卓

黒柳徹子

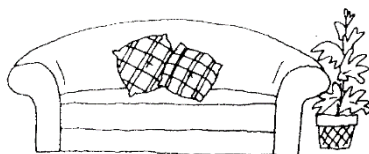
イラクの人々を撮り続けて

フォト・ジャーナリスト森住卓さん

9日の『徹子の部屋』に出演

先月号『短信』欄で紹介したフォト・ジャーナリスト森住卓（たかし）さん（南平1丁目在住）が、6月9日の『徹子の部屋』に出演。3月下旬、4月中旬の二回にわたり訪れたイラクの実情を、自身の写真を交えて話しました。森住さんは5年前からイラクを訪れ、劣化ウラン弾などの戦争被害を追ってきました。

“子どもたちを苦しめるイラク戦争は終わっていない”という森住さんの思いが伝わる番組でした。



短 信

新宿区の二百の自治会で構成する町会連合会が政党助成金の廃止を求める署名運動を開始しました。九五年、制度開始から現在まで二五七〇億円もの血税が日本共産党を除く各政党の金庫へ。「実施されて八年、政治はクリーンになったのか、収賄事件は消えたのか」「実効性の疑わしいこの制度をただちに廃止し国民にとって緊急の課題に振り向けるべきだ」と陳情書は訴えています（日刊赤旗6/1記事より）▽「りそな」へ二兆円の公的資金。二兆円といえば毎日百万円ずつ積み立てたとしても五千五百年かかる額。医療費の国民負担増が一兆五千億円。国民の要望通りこれを取りやめても、たつぷりお釣りがくる額です▽統廃合にともない平山小の児童は「校舎改築の二年間は平山台小に行け」と教育委員会。平山小の学区のはずれにある当事務所（南平七丁目）から歩いてみました。大人の足でたつぷり22分。道のりの大半は登り坂。結構重いランドセル、雨の日は傘もさすし、身体弱い子もいるはずですよ。